



【CM-81】

* 2017年8月(第2版)(新記載要領に基づく改訂)
2014年11月(第1版)

医療機器承認番号:20400BZY00896000

機械器具 29 電気手術器
管理医療機器 高周波処置用能動器具 (JMDNコード:70662000)

リユーザブルメス先電極 (メス先延長用電極)

【警告】

＜適用対象(患者)＞

** 1. 心臓ペースメーカ・植込み型除細動器等の医用電気機器を体内に埋め込んでいる患者には、十分に安全を確認した上で使用すること。[電気手術器からの出力電流の干渉によりペースメーカの停止、固定レート化、不整レート等の動作不良および心室細動等の危険性があるため。]

** <使用方法>

- 電気手術器は正常な使用であっても、アクティブ電極から火花が発生し、また高温となるため可燃性物質に引火し、燃焼・爆発する危険がある。そのため、以下の物質が存在する場合は、電気手術器を使用する前に適切に除去すること。[引火・爆発した場合、火災の発生や患者および手術スタッフに重大な損傷を与えるおそれがあるため。]
- 酸素濃度が高い雰囲気、可燃性麻酔ガス、酸化ガス(亜酸化窒素[N₂O]等)が存在する場合は吸引・除去する。特に胸部または頭頸部等の手術においては、必ず吸引・除去すること。
- 身体の下、へそ(臍)などの身体の窪み、ちつ(臏)のような体腔に可燃性溶液(アルコール含有消毒剤等)が蓄積する場合は拭き取る。
- 手術用ドレープの下に可燃性溶液(揮発したものを含む)が蓄積しないように注意する。
- 体内ガスの発生が懸念される場合は、腸内洗浄を行い、不燃性ガスを注入する。
- 可燃性薬剤で清掃や消毒した場合は十分蒸発させる。
- 溶媒および接着剤は十分蒸発させる。
- 術野に乾燥したガーゼや綿がある場合は、電気手術器を出力する前に除去する。

【禁忌・禁止】

＜適用対象(患者)＞

- 次のような症例には使用しないこと。[術部またはその近傍において、血栓またはその他の障害が発生する可能性がある。]
- 指のような末梢部
- 環状切除術(包茎手術)

【形状・構造及び原理等】

＜形状＞

- 本品は、メス先電極延長用の電極である。



【使用目的又は効果】

＜使用目的＞

電気メスの出力端子(メス先電極)であり、患者に接して直接電気メスの作用(切開、凝固等)を行う電極である。専用のメス先電極ホルダーに接続して使用する。

【使用方法等】

＜使用方法＞

- 本品は未滅菌の製品であるため、使用する際は、【保守・点検に係る事項】<使用者による保守点検事項>に従って、使用前に必ず洗浄・滅菌処理を行うこと。
- 本品をペンシルに接続する。接続する際はペンシルにしっかりと奥まで差し込み、正しく取り付けること。
- 本品にメス先電極を接続する。緩みがないように確実に接続すること。
- 電気手術器の電源が投入されていないことを確認したのちにペンシルを電気手術器に接続する。

** <組み合わせて使用する医療機器>

販売名	承認番号
ディスポ ハンドコントロール プラス	20300BZY01003000

上記以外のメス先電極を接続しないこと。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

1. 使用前の注意事項

- ペンシルを接続したのちに電気手術器の電源スイッチをONにすること。[意図しない出力による熱傷を防止するため。]

2. 使用中の注意事項

- 必ず目標部位にメス先電極を接触させたのちに出力を開始すること。出力させながらメス先電極を組織に接触させないこと。[メス先電極を組織に接触させない状態で出力した場合、本品の絶縁部分が組織や鋼製器具に接触すると容量結合による意図しない出力、絶縁部の破損・溶解等により、熱傷の危険性が高まるため。]
- 本品はペンシルへ確実に差し込むこと。[差し込みが不十分だとペンシル内部で放電が起こり高熱を発生するおそれがあるため。]

** (3) 電気手術器の最大出力電圧が 5500Vp を超えない範囲で使用すること。[定格電圧を超えた場合、本品を破損させるおそれがあるため。]

** (4) 期待する臨床効果が得られない場合、対極板と患者の装着状態不良、メス先電極の炭化物付着、アクティブ附属品の接触不良等が考えられるため、むやみに出力値を上げずに本品を含むアクティブ附属品の外観確認、各部の接続状態の確認などの原因調査を行った上で異常がないことを確認してから出力値を上げる。

** (5) 本品を使用しないときは、常に絶縁された安全な場所(絶縁ケースの中、器械台の上等)に置き、患者の上に置いたり、術者に接触しないようにすること。ケースに入れる場合は単品で入れ、特に金属製の器具を同一のケースに入れることは絶対に避けること。[偶発的な通電等により患者が負傷したり、可燃物に引火するおそれがある。]

3. 使用後の注意事項

- 使用後は本品にメス先電極が接続されていることを確認すること。[使用中に意図せず外れ、体内に脱落・遺残する可能性がある。]
- 使用を終えるときは電気手術器の電源をOFFにしたのちに本品を取り外すこと。
- 使用後の本品は【保守・点検に係る事項】<使用者による保守点検事項>を参照し、直ちに洗浄すること。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- ** (1) 電気手術器の添付文書および取扱説明書、ペンシルの添付文書を必ず参照すること。
- ** (2) 電気手術器の出力値は可能な限り低く設定して、出力時間は最小限とし、電気手術器のデューティサイクルを超えないこと。〔組織等に過度な熱影響を与える可能性があり、高電圧モードを使用すると、高周波分流が発生しやすくなる。〕

2. 相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)

- * (1) 併用注意(併用に注意すること)
 - ** 1. 電気手術器と生体情報モニタなどを同時に同じ患者に使う場合には、高周波電流制限装置を備えたモニタ装置を用いること。モニタ用電極などは、術野および対極板からできるだけ離して装着すること。定格内の高周波漏れ電流であっても、患者に直接接続するモニタ用電極の面積が小さい場合、発熱・熱傷の可能性があるので、針状の電極は使用しないこと。

3. 不具合・有害事象

- (1) 重大な不具合
 - 1. 本品の破損
 - (2) 重大な有害事象
 - 1. 熱傷
 - 2. 感電

【保管方法及び有効期間等】

** 1. 保管上の注意

水濡れに注意し、高温、多湿、直射日光の当たる場所を避けて常温で保管すること。

〈耐用期間〉

** 耐用使用回数：20回〔自己認証(当社データ)による〕

但し、使用状況や取り扱い方法によっては20回未満で使用できなくなる場合がある。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検事項〉

1. 使用前点検

- (1) 樹脂のひび割れ、破損、その他の変形がないことを確認すること。
- (2) 接続端子に破損や著しい湾曲がないことを確認すること。
- (3) 本品を修理することはできない。異常が発見された場合は、廃棄すること。

2. 洗浄方法

- (1) 使用中に付着した組織片等、目に見える汚れは柔らかい非金属製の機器洗浄用ブラシを用い、低刺激性の洗剤と清浄な水を用いて除去すること。ステンレス鋼を腐食するおそれがあるため、塩素系の洗剤は使用しないこと。
- (2) 残留洗剤や組織片等がなくなるまで清浄な水で完全にすすぎ、清潔な布で拭いて完全に乾燥させること。
- (3) 故障の原因となるので本品は液体に浸さないこと。また、機械洗浄は行わないこと。

3. 滅菌方法

- (1) オートクレーブ滅菌
二重の滅菌パウチに入れて、蓋のないトレーに重ならないように並べてオートクレーブ滅菌器に入れること。

1. プレバキューム式オートクレーブ滅菌

処理温度	132～135℃
処理時間	3分以上4分以下
推奨乾燥時間	5分

2. 重力置換式オートクレーブ滅菌

処理温度	132～135℃
処理時間	10分以上15分以下
推奨乾燥時間	5分

(2) 滅菌に対する注意事項

- 1. オートクレーブ滅菌を行う際は、プラスチック製の部品がオートクレーブ滅菌器内側の金属部分に触れないようにすること。〔滅菌器内側の金属部は更に高温となり、プラスチック部品に損傷を与えるため。〕

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元

日本メディカルネクスト株式会社

**電話番号：06-6222-6606

製造元

コンメド社(アメリカ合衆国)

CONMED Corporation